

平成23年度以降の現規制区間のマイカー規制について

平成23年度以降の現規制区間のマイカー規制を考えるにあたり、マイカー規制にかかるコスト及び考え方・課題について整理する。

< 現行マイカー規制の実施体制とコストについて >

現行のマイカー規制を実施するためには、下記の費用がかかっている。（支出元組織名）

五湖ゲート警備員	: 1名配置	(道道工事にて配置)
各駐車場警備員	: 1~3名配置	(マイカー規制協議会)
カムイワッカ地区警備員	: 2名配置	(道道工事にて配置)
巡視員	: 1名	(環境省)
湯の滝監視員	: 2名	(斜里町、観光協会、網走南部森林管理署)
カムイワッカ地区の仮設トイレ・更衣室の設置		(道道工事にて設置)
カムイワッカ地区の仮設トイレ等の清掃		(環境省)
シャトルバスチケット販売所	: 1~2名	(斜里バス)

道路工事終了に伴い、五湖ゲート警備員、カムイワッカ地区警備員、仮設トイレ・更衣室の設置について道路管理者側の負担が無くなる予定。

< 各関係機関の考え方の整理 >

・道路管理者の見知から

・土地管理者の見知から

・交通安全の見知から

道道落石防止工事前後におけるカムイワッカ地区の変化と課題

	～H16(工事開始前)	H23～(工事終了後)	発生しうる課題
通行可能区間	知床五湖～知床大橋	知床五湖～カムイワッカ湯の滝 (カムイワッカ湯の滝～知床大橋は落石の危険のため通行止)	これまでカムイワッカ湯の滝から知床大橋までの区間で転回及び駐車していた車両がすべて知床五湖側で転回及び駐車されることになり、渋滞や混雑が予想される。
車両転回場所	知床大橋までの区間に数カ所	通行可能区間が短くなっていることから、減少	
車両駐車スペース	知床大橋までの区間に数カ所	通行可能区間が短くなっていることから、減少	
道路幅員	道路構造令に基づく道路区分では、3種5級程度。	変更なし	
カムイワッカ湯の滝の利用	四の滝まで利用可能	一の滝の上部までの使用許可が必要。 一の滝までの立ち入り規制。 一の滝に監視員を配備して利用。	利用者の滞在時間が減少。 立ち入り規制の周知徹底がうまくなされるかが問題となる。